

7 節 マスチック塗材塗り

1 5 . 7 . 1 一般事項

この節は、コンクリート面、押出成形セメント板面、モルタル面及びA L Cパネル面へのマスチック塗材塗りに適用する。

1 5 . 7 . 2 材料及び工法

(1) マスチック塗材塗りは表 15.7.1 により、○印の工程を行い、種別は特記による。

表 1 5 . 7 . 1 マスチック塗材塗り

工 程		種別		塗材その他	日本ペイント 商品名	塗付け量 (kg/m ²)
		A種	B種			
素地 ごしらえ		○ ^{(注) 1}		18.2.5 [モルタル面及びせっこうプラスター面の素地ごしらえ] 又は 18.2.6 [コンクリート面、A L Cパネル面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ] による。		
1	下地 押え	○	—	合成樹脂エマルジョンシーラー	—	0.12
		—	○	マスチックC用シーラー	—	0.12
2	塗材 塗り	○	—	マスチック塗材A	—	1.20
		—	○	マスチック塗材C	—	1.80
3	仕上材 塗り	—	○	つや有合成樹脂エマルジョンペイント 2回塗り	—	0.20

(注) 1. 素地ごしらえの種別は、塗材その他の欄による。

2. 押出成形セメント板面の素地ごしらえは、表 18.2.6 [コンクリート面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ] によるB種とする。

- (2) マスチック塗材は、マスチック塗材の製造所において調合されたものとする。
- (3) マスチック塗材は、施工に先立ち、かくはん機を用いてかくはんする。
- (4) 塗付けは、多孔質のハンドローラーを用い、下地にくばり塗りを行った後、均し塗りを行い、次にローラー転圧によりパターン付けをして、一段塗りで仕上げる。
- (5) 塗継ぎ幅は、800mm 程度とし、塗継ぎ部が目立たないように、むらなく仕上げる。
- (6) パターンの不ぞろいは、追掛塗りをし、むら直しを行って調整する。

日本ペイントの対応商品は、下記ホームページをご参照ください。

JIS A 6909 建築用仕上塗材 規格と組合せ一覧表

<https://www.nipponpaint.co.jp/images/products/building/JIS2.pdf>